

備忘録
昭和十一年
那智郡元村役場

0044

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040



三十一
一
二

筆生没後山部
日記

0045

安楽川村文書Ⅱ 文書番号

040



筆生漫稿山部
日記

十一月廿一 本 二	十一月廿二 本 二	十一月廿三 本 二	十一月廿四 本 二	十一月廿五 本 二	十一月廿六 本 二	十一月廿七 本 二	十一月廿八 本 二	十一月廿九 本 二	十一月三十 本 二
本 二	本 二	本 二	本 二	本 二	本 二	本 二	本 二	本 二	本 二

0046

安楽川村文書Ⅱ 文書番号 040



明治十二年下月

一 十一日
一 十一日
一 十一日
一 十一日

就直補

一 十一日
一 十一日

柳中由太郎

記
柳中由太郎

一 十一日
一 十一日
一 十一日
一 十一日

一 十一日
一 十一日

0047

安楽川村文書Ⅱ 文書番号

040



柳川由太郎

記

柳川由太郎

十月廿二日
一 吉野
二 吉野
三 吉野

十月廿二日
一 吉野
二 吉野

十月廿二日
一 吉野
二 吉野

十月廿二日
一 吉野
二 吉野

十月廿二日
一 吉野
二 吉野

十月廿二日
一 吉野
二 吉野

十月廿二日
一 吉野
二 吉野

十月廿二日
一 吉野
二 吉野

十月廿二日
一 吉野
二 吉野

十月廿二日
一 吉野
二 吉野

十月廿二日
一 吉野
二 吉野

十月廿二日
一 吉野
二 吉野

0048

安楽川村文書 II 文書号

040



九月廿五日
初定本村

池

明和二年二月

打出

此池... 山... 水... 光... 印... 山... 水... 光... 印... 山... 水... 光... 印...

0049

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040



池

明和五年二月一日

折尾 常任

此山は折尾の山にありて
山頂にありて山頂にありて
山頂にありて山頂にありて
山頂にありて山頂にありて
山頂にありて山頂にありて

三ノ丸

折尾 常任

此山は折尾の山にありて
山頂にありて山頂にありて
山頂にありて山頂にありて
山頂にありて山頂にありて
山頂にありて山頂にありて

古蹟 五相

0050

安楽川村文書 II 文書号

040



池里村別

丁三ノ目 池里村別
一、三ノ目 池里村別

併し 伊勢 池里村別
併し 伊勢 池里村別

丁一ノ目

一、七ノ目

丁一ノ目

併し 伊勢 池里村別
併し 伊勢 池里村別

一、七ノ目

丁一ノ目

併し 伊勢 池里村別
併し 伊勢 池里村別

一、七ノ目

丁一ノ目

併し 伊勢 池里村別
併し 伊勢 池里村別

一、七ノ目

丁一ノ目

併し 伊勢 池里村別
併し 伊勢 池里村別

一、七ノ目

丁一ノ目

併し 伊勢 池里村別
併し 伊勢 池里村別

一、七ノ目

丁一ノ目

一、七ノ目

一、七ノ目



七
一 三 九 七 八
十一
十二

三 九 七 八
十一
十二

一 三 九 七 八
十一
十二

一 三 九 七 八
十一
十二

一 三 九 七 八
十一
十二

一 三 九 七 八
十一
十二

一 三 九 七 八
十一
十二

0052

安楽川村文書 II 文書号

040



十七年
柳
山
記
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

0053

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040



十七年 柳 山子

一 柳 山子

一 柳 山子

一 柳 山子

一 柳 山子

一 柳 山子

一 柳 山子

一 柳 山子

一 柳 山子

一 柳 山子

0054

安楽川村文書 II

文書号

040



ワケの事
神に到りて
神

一カ
早定 神意
出二候

一カ
此乃 神意
出二候

一カ
此乃 神意
出二候

一カ
此乃 神意
出二候

一カ
此乃 神意
出二候

一カ
此乃 神意
出二候

一カ
此乃 神意
出二候

0055

安楽川村文書 II 文書号 040



此所
多助
之

0056

安楽川村文書Ⅱ 文書号

040



村名 堀内 氏

堀内 氏

天保二年六月五日

堀内 氏 堀内 氏 堀内 氏

0057

安楽川村文書Ⅱ

文書号

040



村中権得書

大正二年一月九日

村中権得書

村中権得書

村中権得書

村中権得書

村中権得書

村中権得書

村中権得書

村中権得書

0058

安楽川村文書Ⅱ

文書番号

040



四月

四月廿五日
徳代
御殿
御書

五月
御書
御書
御書

十日
御書
御書
御書

御書
御書
御書

御書
御書

御書
御書

御書
御書
御書

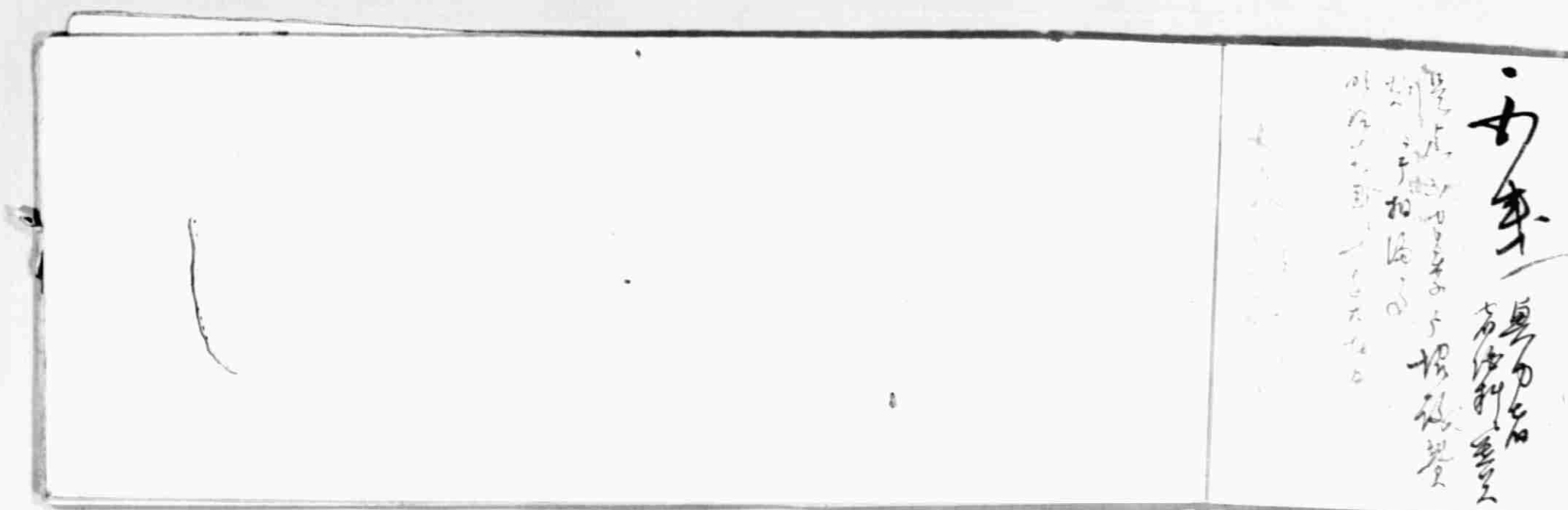
0059

安楽川村文書 II

文書
番号

040





市

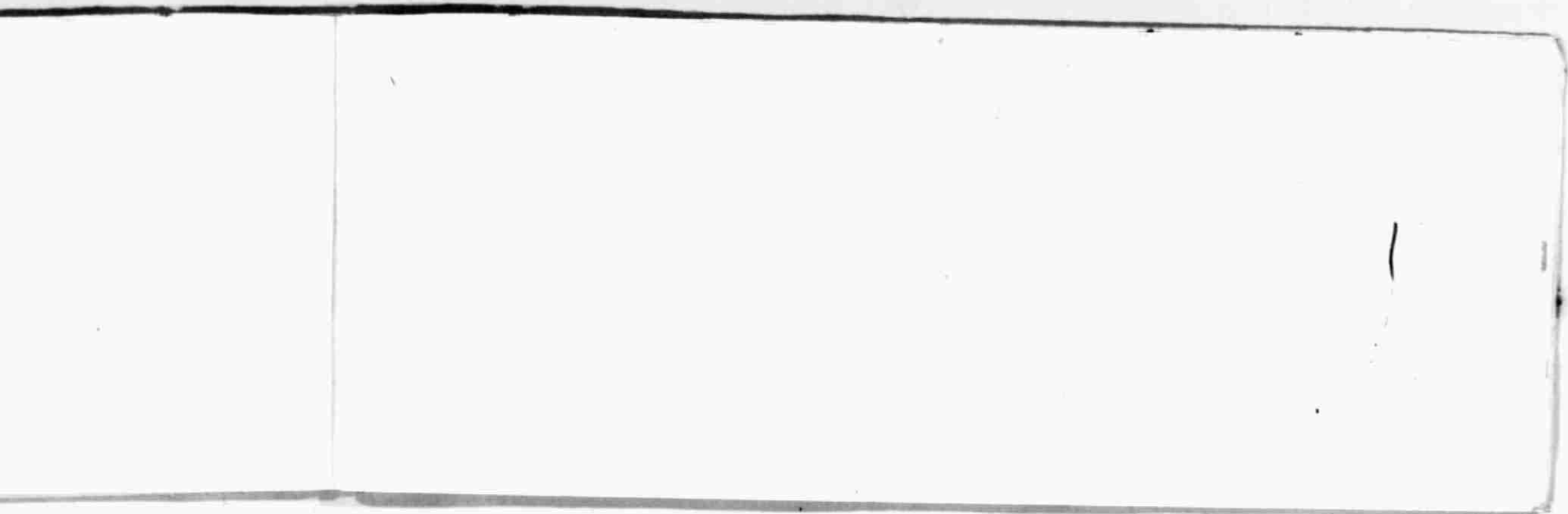
長力七郎
市川村文書

長力七郎
市川村文書
市川村文書
市川村文書

0060

安楽川村文書Ⅱ 文書番号 040

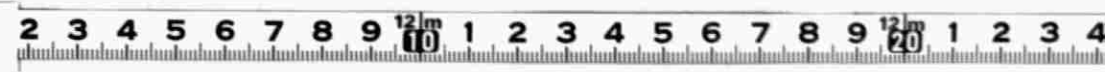


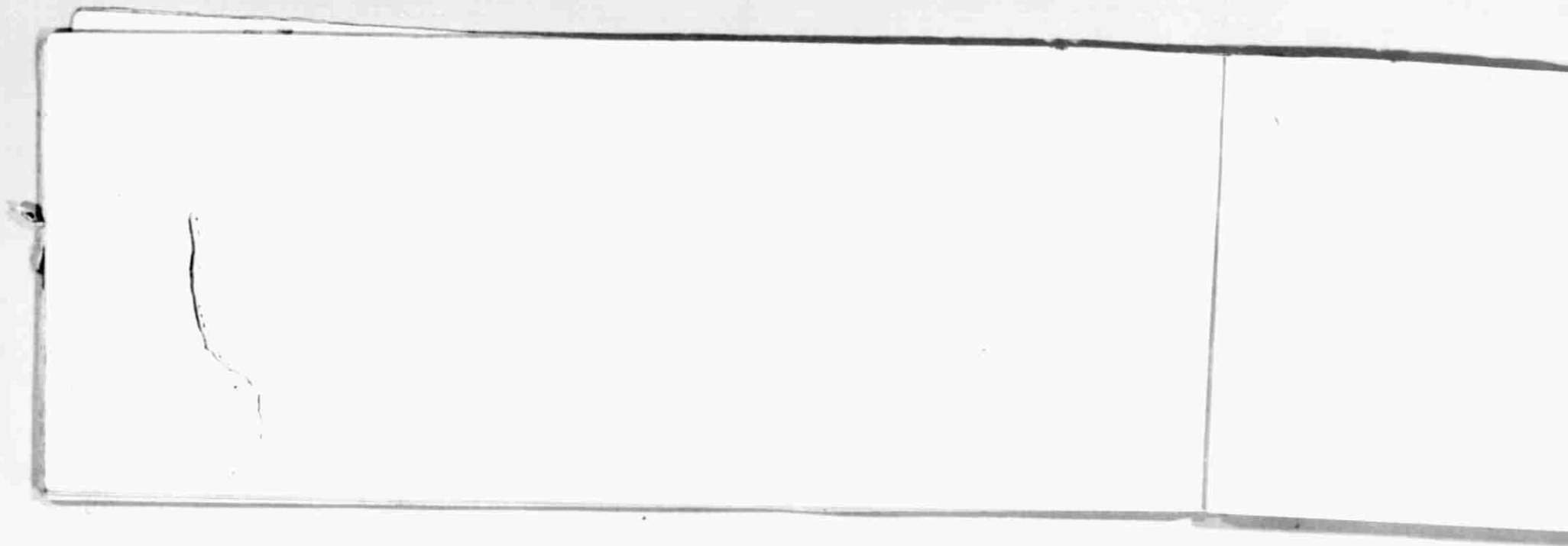


0061

安楽川村文書Ⅱ 文書番号

040





0062

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040



軍家地相費
及別分記

十一
三

軍家地相費
及別分記

0063

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040



軍實地相費
及別分記

十七年

軍方書抄
附録
及別分記

十七年
軍方書抄
附録
及別分記

十七年
軍方書抄
附録
及別分記

十七年
軍方書抄
附録
及別分記

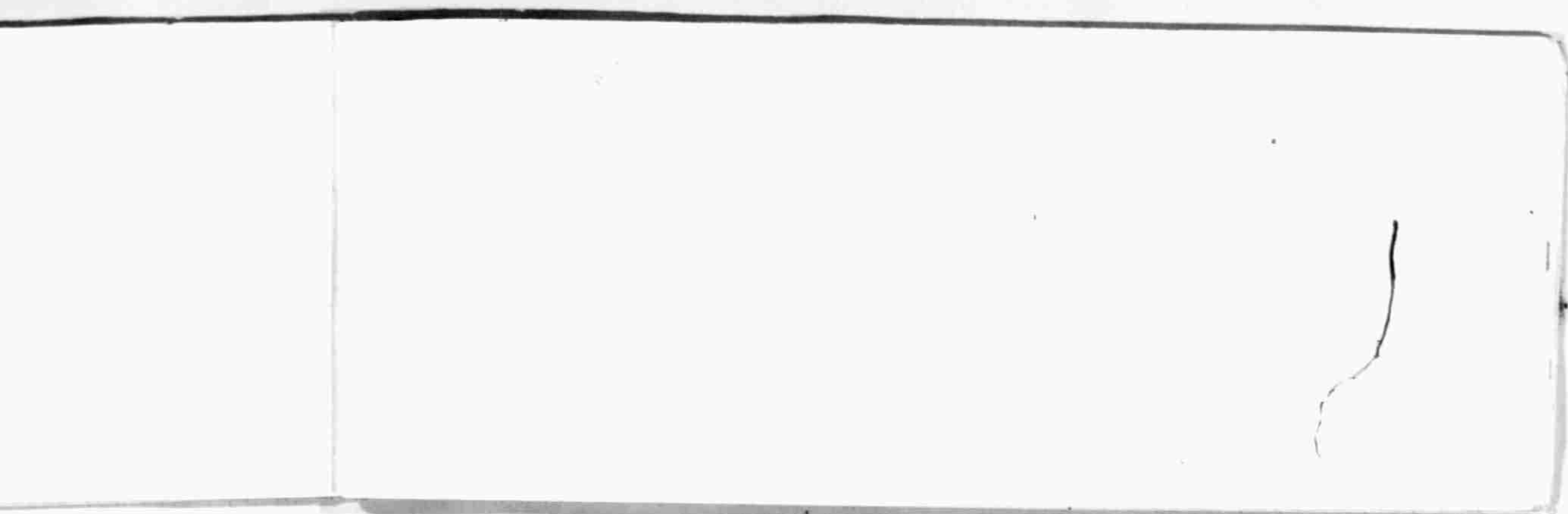
0064

安楽川村文書Ⅱ

文書号

040





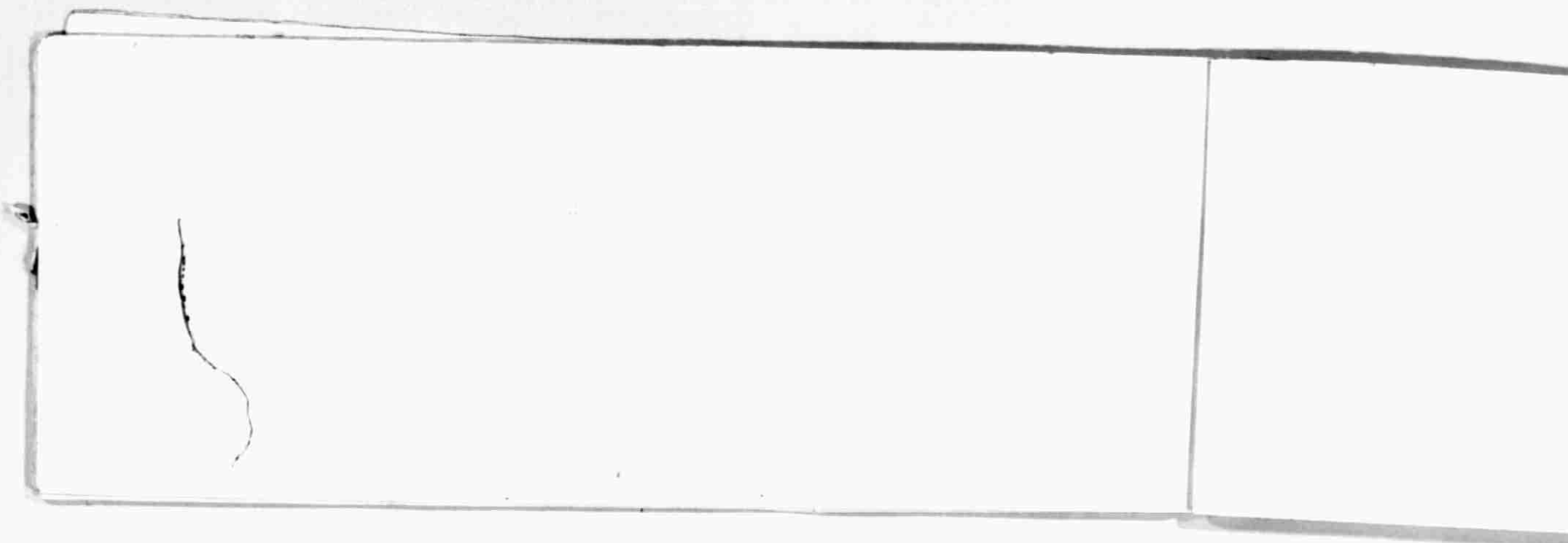
0065

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040





0066

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040



記

十一月廿一日
一、日向
二、即
三、

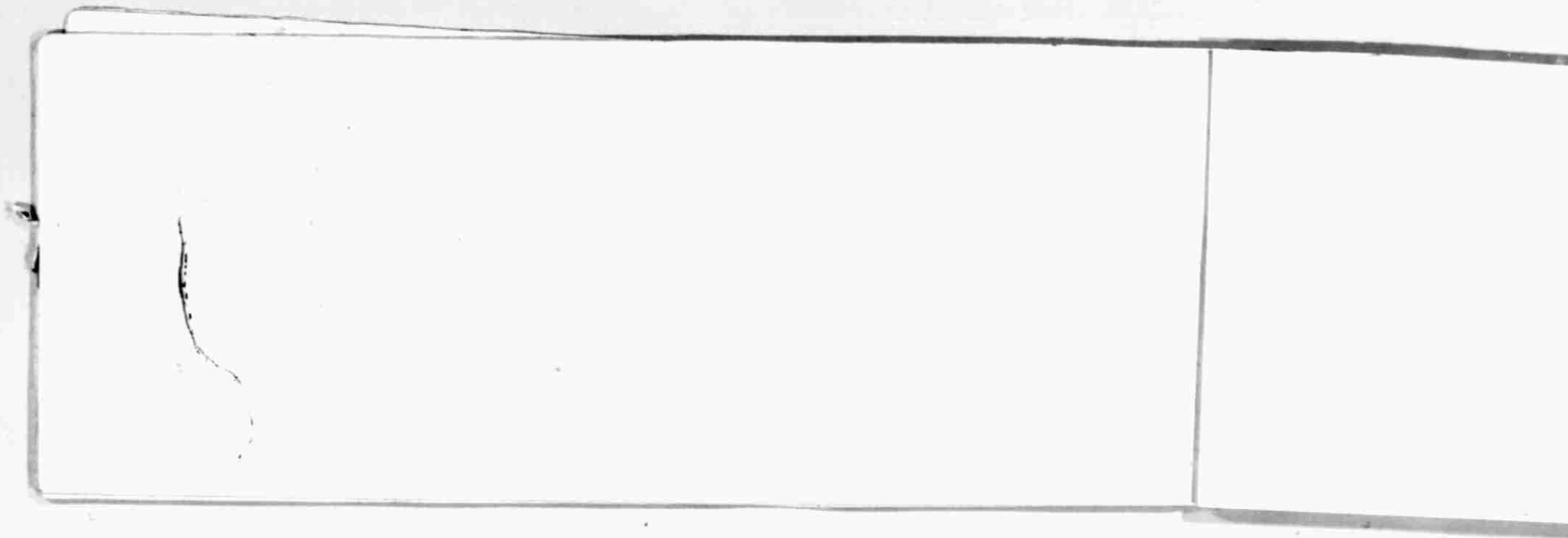
十一月廿二日
一、五
二、五
三、五

十一月廿三日
一、四
二、四
三、四

0067

安楽川村文書Ⅱ 040





0068

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040



記

田中悦子

三十九日、
一書上
坂田守村牛少節山古牛区以
右麓地、津境界、松並、
奥高尾、稻山、山古、
坑、坑、山、山、
石、石、石、
古田守村原、
いり、十四、

井、古、村、話、場、
集、行、日、記

十、十、
十、十、
十、十、
十、十、



井ノ六ヶ村話後編
集序日記

二十一日
二十二年度井ノ費減存別

二十三日
廿四日

廿五日
廿六日
廿七日
廿八日
廿九日
三十日

三十一日

一山名村、廿五日在朝田西六割地年
朝十初迄、廿五日申初、廿五日

二十一日
廿二日
廿三日
廿四日
廿五日
廿六日
廿七日
廿八日
廿九日
三十日

三十一日
廿二日
廿三日
廿四日
廿五日
廿六日
廿七日
廿八日
廿九日
三十日

三十一日
廿二日
廿三日
廿四日
廿五日
廿六日
廿七日
廿八日
廿九日
三十日

三十一日
廿二日
廿三日
廿四日
廿五日
廿六日
廿七日
廿八日
廿九日
三十日

三十一日
廿二日
廿三日
廿四日
廿五日
廿六日
廿七日
廿八日
廿九日
三十日

三十一日
廿二日
廿三日
廿四日
廿五日
廿六日
廿七日
廿八日
廿九日
三十日

三十一日
廿二日
廿三日
廿四日
廿五日
廿六日
廿七日
廿八日
廿九日
三十日



四月廿一日午後三時三十分村長

佐藤仁蔵

但し、要旨は、境内の山岳の修繕に必要
なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

に、町内各戸より、山岳修繕に必要

なる材料の運送に必要なる労賃等

山田輝之 山田輝之 山田輝之
山田輝之 山田輝之 山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

山田輝之

山田輝之

山田輝之

山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

四月二十日
山田輝之

0072

安楽川村文書Ⅱ 文書号 040



平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集

平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集

明治十五年丁未年
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集
平山古石 集

0073

安楽川村文書Ⅱ 文書番号

040



山ノ井ノ元村
甲村
尾末南日記

明治十三年一月

一、
山ノ井ノ元村
甲村
尾末南日記

四月

山ノ井ノ元村
甲村
尾末南日記



甲子年七月十日

此日...

...

...

...

九

甲子年七月十日

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

十七年...

...

...

0075

安楽川村文書 II 文書号

040



一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

0076

安楽川村文書Ⅱ

文書番号

040

2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4

柘榴川第拾伍卷
之序
出

十之五

三ノ中六日
之若此の手
出

柘榴川箱持係修養
之師在土田村人云
所出陳書

十之五
一 三月廿六日 野衛 弓 雲 龍 寺
公 若 若 寺 出 處 在 寺 所 修 治 寺
林 邊 之 輔 所 山 是 此 寺
中 向 正 三 九

一 川 右 右 右 寺 邊 之 柘 榴 川
少 部 所 出 處 在 寺 所 修 治 寺

十七年
一 年 在 寺 邊 柘 榴 川 所 出 處 在 寺 所 修 治 寺
柘 榴 川 所 出 處 在 寺 所 修 治 寺
柘 榴 川 所 出 處 在 寺 所 修 治 寺

一 年 在 寺 邊 柘 榴 川 所 出 處 在 寺 所 修 治 寺
柘 榴 川 所 出 處 在 寺 所 修 治 寺
柘 榴 川 所 出 處 在 寺 所 修 治 寺
柘 榴 川 所 出 處 在 寺 所 修 治 寺



村方集會紀略

明治廿九年十一月十七日
西宮小学校校務科員源三郎
母体三郎 梅田三郎 乾直樹
吉原三郎

0079

安楽川村文書Ⅱ 文書号

040



村方集會部
記

昭和十七年十一月十七日

村方集會部 村方集會部

村方集會部 村方集會部

村方集會部

村方集會部

村方集會部 村方集會部

村方集會部 村方集會部

村方集會部

昭和十七年十一月十七日

村方集會部 村方集會部

村方集會部 村方集會部

村方集會部

村方集會部

昭和十七年十一月十七日

村方集會部 村方集會部

村方集會部 村方集會部

村方集會部 村方集會部

村方集會部 村方集會部

村方集會部

0080



去後強し補

十月
抄上
抄上
抄上
抄上

十月
抄上
抄上
抄上
抄上

可生年抄

抄上
抄上
抄上
抄上

抄上
抄上
抄上
抄上

中事抄日記

抄上
抄上
抄上
抄上

0081

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040



仲家日記

十一月廿三日 初上

仰初日片山、其氏座、
其相之相室、米、則出、
仰家、立、相、初、格、
（？）

十一月廿三日 初上
仰初日片山、其氏座、
其相之相室、米、則出、
仰家、立、相、初、格、
（？）

十一月廿三日 田中半記

仰し米内外札号

十一月廿三日 仰家
仰家、立、相、初、格、
（？）

十一月廿三日 仰家
仰家、立、相、初、格、
（？）

十一月廿三日 仰家
仰家、立、相、初、格、
（？）

十一月廿三日 仰家
仰家、立、相、初、格、
（？）

十一月廿三日 仰家
仰家、立、相、初、格、
（？）



安楽川村
三井物産
日記

十七日

中野
在りし如き
字、本村

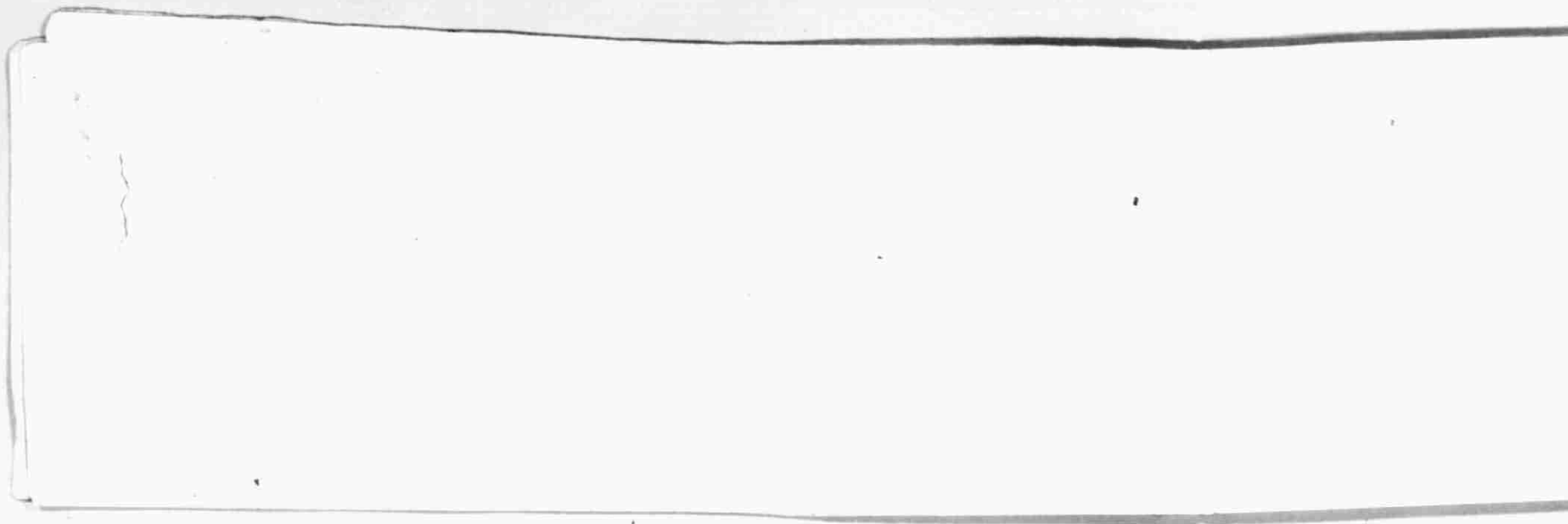
一
本
物

一
本
物

0083

安楽川村文書Ⅱ 文書番号 040





0084

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040



美山井三郎氏
西ノ口ノ所ノ地

甲子年六月

此ノ地ノ地ノ所ノ地
形ノ長クテ
田ノ所ノ地

田ノ所ノ地

二

一ノノ中ノ地ノ所ノ地
此ノ地ノ地ノ所ノ地
形ノ長クテ
田ノ所ノ地

一ノノ中ノ地ノ所ノ地
此ノ地ノ地ノ所ノ地
形ノ長クテ
田ノ所ノ地

0085

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040



Handwritten text in Japanese, likely a signature or a note, located on the right edge of the document. The characters are written vertically in a cursive style.

0086

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040

2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4

成化七年仲夏川井
家元件在古坊集
字集錄記

川井家元件在古坊集
字集錄記

0087

安楽川村文書Ⅱ

文書号

040

2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4

[Faint handwritten text on a rectangular piece of paper, possibly bleed-through from the reverse side. The text is illegible due to fading.]

0088

安楽川村文書Ⅱ 文書
番号

040



死

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

記

三月十日
三月十日
三月十日
三月十日
三月十日
三月十日
三月十日
三月十日
三月十日
三月十日

五月
五月
五月
五月
五月
五月
五月
五月
五月
五月

方泉也
方泉也
方泉也
方泉也
方泉也
方泉也
方泉也
方泉也
方泉也
方泉也

0089

安楽川村文書Ⅱ 文書号 040



一
方
泉
也
但
一
字
後
易
之
也

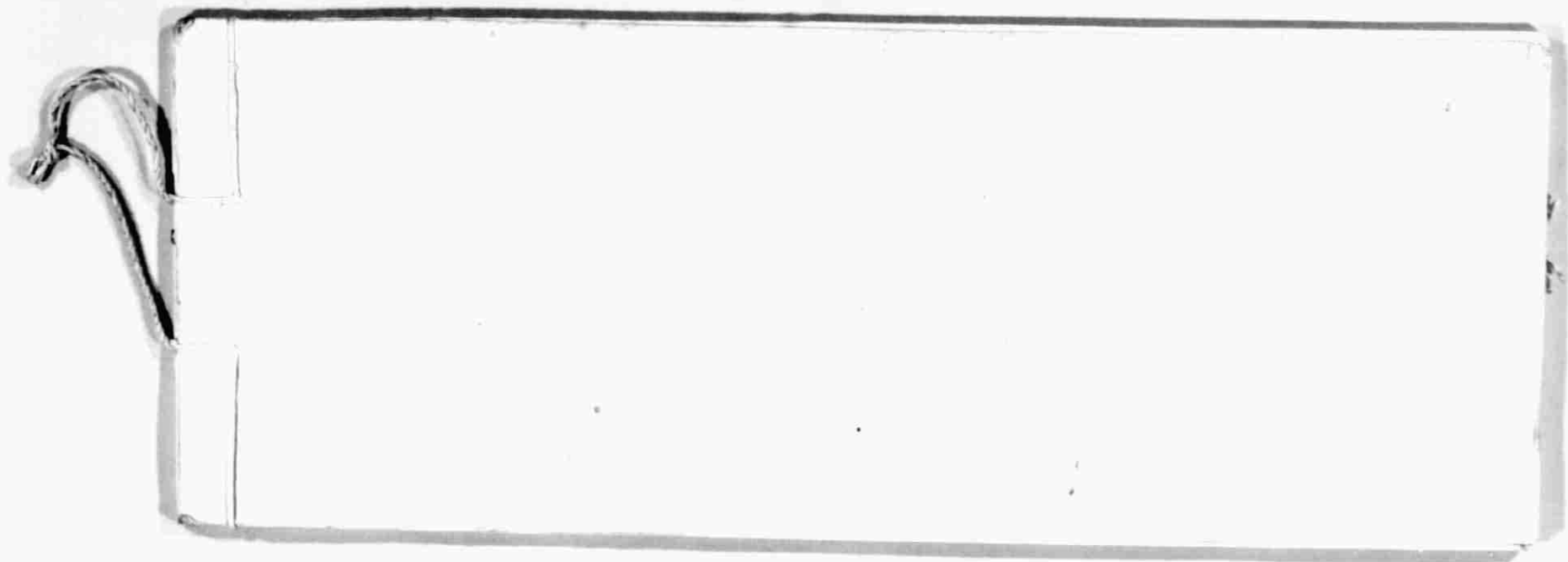
0090

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040





0091

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

040

